

# 「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト 中間とりまとめについて

平成 27 年 6 月

## 1. 「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトとは

自然資源を象徴する「森」「里」「川」「海」を保全・再生してつなげる  
こと、また、それぞれに関わる人をつなげること、そして、都市部に住む  
人たちも含めて国民全体で「森里川海」の保全とそれに関わる人たちを支  
えることを目指して、環境省内にプロジェクトチームを設置。

26 年 12 月から 6 月までの間に、勉強会（7 回）やシンポジウム（1  
回）を重ね、多くの有識者と議論しながら方向性を検討してきたもの（延  
べ約 700 名が参加）。

## 2. 中間とりまとめの位置づけと今後について

勉強会の議論を踏まえ、講師や参加者、環境省プロジェクトチーム員に  
よるグループで執筆。

今後は、賛同者を募るとともに、広く理解を得るためのシンポジウム等  
を開催。また、具体化に向けた検討を進める。

## 3. 中間とりまとめの概要

前文 今なぜこのプロジェクトを進めるのか、何を指すのか

### (1) 現状と課題

- ・ 豊かな恵み（自然の恵み、それを核とした社会のつながり、人の心）
- ・ 危機と課題
- ・ 各地で行われている多様な活動

### (2) 目標

以下の 2 つを提示

- ・ 森里川海を豊かに保ち、その恵みを引き出す
- ・ 一人一人が、森里川海の恵みを支える社会をつくる

### (3) 基本原則

- ・ 踏まえるべき視点や基本的考え方  
（人口減少社会・高齢化を踏まえること、地方の自立・地方創生  
に貢献すること、国民全体で支える必要、流域を俯瞰しつながら

を確保する考え方、バックキャストイング・アプローチ、地域間連携・関係者連携など)

#### (4) 具体的な取組のアイデア

##### ① 個別プログラム (例)

国民一人一人がその成果を実感できるよう、わかりやすい目標を掲げた具体的なプログラムをまとめる

- 森林のメタボ解消、健全化プログラム
- 生態系を活用したしなやかな災害対策プログラム
- 「江戸前」など地域産食材再生にも貢献する豊かな水循環形成プログラム
- トキやコウノトリなどが舞う国土づくりプログラム
- 美しい日本の風景再生プログラム
- 森里川海からの産業創造プログラム
- シカなどの鳥獣や外来生物から国土・国民生活を守るプログラム
- 森里川海の中で遊ぶ子どもの復活プログラム
- 森里川海とつながるライフスタイルへの転換プログラム

##### ② 実現に向けた仕組み

- ボトムアップで取組を進めるための仕組み
  - ・ 幅広い関係者で議論する「森里川海協議会」と「森里川海地域協議会」の提案
- 資金や労力を確保するための方策
  - ・ 恵みを受ける全ての個人や企業が少額（一人1～2円程度など）を負担することを提案
  - ・ 企業の参画、ナショナルトラスト、観光客等による利用者負担等の推進
  - ・ 人づくり、ネットワーク化の推進
- 今後の進め方
  - ・ 広く理解を得つつ関係者と協力して検討を行う必要
  - ・ 資金を確保する仕組みについては、2～3年程度かけて制度設計を行うことが現実的
  - ・ 新たな仕組みの必要性について、できる限り早期に国民的な合意を得ることが不可欠

<実現する仕組みのイメージ図>

